

第7回 新任教員研修セミナー

開催要項

日時 2017年9月4日(月)13:00~9月6日(水)13:00

会場 大学セミナーハウス(東京都八王子市下柚木 1987-1)

趣旨

大学入試改革と呼応して、高校や大学での学びに「生徒・学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していくアクティブ・ラーニング」の導入が求められています。本セミナーでは、参加者及び講師との交流を通して大学教育にふさわしいアクティブ・ラーニングのあり方を探求し、それぞれの教育実践につなげることを目的としています。

セミナーの到達目標

自分が担当する授業を「学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していくアクティブ・ラーニング」へと転換するために必要なことを説明できるようになること。



参加者アンケートより

☆ とても有意義だった。新任だけでなく全ての教員に必要な課題であると感じました。

☆ 具体的な授業方法に加えて、他大学、他分野の先生方との情報交換もできた。

☆ 自分が将来この事例に直面する可能性があり、勉強になりました。

☆ SPAプログラムでご紹介いただいた手法は、アイスブレイクや学生間の関係作りに活かしたい。

☆ 他大学の立場や年齢の近い方と交流ができ、悩んでいるのは自分だけでは無いと分かって安心した。

(私立大学・医歯薬系30代教員)

(私立大学・人文社会系50代教員)

(私立大学・人文社会系20代教員)

(私立大学・複合領域30代教員)

(国立大学・理工系40代教員)

主催：公益財団法人 大学セミナーハウス
共催：公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

プログラム概要

第1日目 9/4(月)

開会 13:00~13:40
学術・文化・産業ネットワーク多摩会長 小川 哲生
新任教員研修セミナー運営委員長 菊地 滋夫

趣旨説明
と
自己紹介 13:40~14:10
明星大学人文学部教授 菊地 滋夫

アイス
ブレイク
(SPAプロ
ラム) 14:40~17:30
「アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り」
大学セミナーハウス所属ファシリテーター 佐藤 順子

SPA(Seminar house Project Adventure)のプログラム
は、Communicate:聞・伝える・つながる、Create:考える・創る、Commit:関わる、Challenge:挑戦する、Consider:思いやるの5つの「C」をキーワードにプログラムを展開します。
SPAの活動そのものがアクティブ・ラーニングであり、自らが主体的な学び手となることで、アクティブ・ラーニングを実践していく上で必要な要素を考え、その環境や関係性を作出していきます。

夕食・情報
交換会 18:30~20:30

第2日目 9/5(火)

講演 9:00~10:40
「クロス・バウンダリー・コミュニケーションの重要性」
東京理科大学科学教育研究科教授 北原 和夫

アクティブ・
ラーニング
講座① 10:40~12:00
「学生参加型授業の実践」
明星大学人文学部教授 菊地 滋夫

昼食

アクティブ・
ラーニング
講座② 13:00~16:00
「多様な学習方法を前提とした効果的な授業運営方法」
桜美林大学リベラルアーツ学群教授 荒木 晶子

休憩

アクティブ・
ラーニング
講座③ 16:20~18:30
「問題意識の共有と授業改善」
電気通信大学情報理工学部教授 史 傑

夕食・情報
交換会 18:30~20:30

第3日目 9/6(水)

シンポ
ジウム 9:00~12:00
1. 学生の参加を引き出す学習環境構築の
取り組み part3
現代大学
教育論 桜美林大学講師・サンクタス(株)代表取締役
有賀 清一
2. 学習支援に果たす図書館の役割
帝京大学経済学部教授 江夏 由樹
3. 対応が困難な学生理解のために
合理的配慮を踏まえてー
明星学苑法人本部企画部課長 村山 光子

閉会 12:00~12:20
大学セミナーハウス館長 鈴木 康司

昼食会 12:20~13:00



第6回新任教員研修セミナーの様子



大学教育における大きな変革の時代を担う新任教員のみなさまへ

新任教員研修セミナー運営委員長 菊地 滋夫

初等中等教育から高等教育に至る日本の教育システムは、大きな変革のときを迎えています。このことを端的に示しているのが、**多様な他者と協働して問題を発見し解を見出していく深い学びとしてのアクティブ・ラーニング**の導入です。中央教育審議会答申等に繰り返して述べられているように、それは変化の激しい時代にあつて自らの人生を切り拓くとともに、豊かな社会を共に創り出すことのできる人を育てるための教育です。「多様な他者と協働して」という点に着目すれば、従来「均質性を前提とした競争」に偏りがちだった教育の限界を乗り越えようとする、希望の挑戦であるとも言えましょう。

大学教育においても、20世紀の終わり頃から教育のパラダイム転換は急速に進みました。「教員が何をどれだけ教えたか」を重視する見方は、「学生が何を学び、何ができるようになったのか」へと劇的に変わりました。主語は「教員」から「学生」になり、前者がどんなに立派なことをたくさん教えても、後者がそれを学ばなければ教育として失敗であることが明確になったのです。そして、今日、問われているのは、後者が「何をどのように学んだのか」ということです。とくに大学教育においては、**あらかじめ与えられた問いに対して、各人が競い合って正解を探り当てるようなやり方ではなく、多様な他者と協働して問題を発見し解を見出していく学び**が求められています。このような、唯一の正解などないかもしれないような複雑な問いへのチャレンジは、基礎的な知識・技能の獲得や定着に重きを置く初等中等教育とは異なり、より大学教育にふさわしい創造的な学びであると思われれます。

上記の変革を加速させることを意図した大学入試改革は、3年後の実施に向けて検討が進められています。大学入試が暗記中心の知識偏重型である限り、高等学校における教育もそれに対応するために座学中心の知識詰め込み型にならざるを得ないとの批判があるからです。しかし、15歳人口が再び終わりの見えない減少期に突入した現在、**危機感を持つ高等学校や塾・予備校などは、大学入試改革に先行してアクティブ・ラーニングの導入に力を入れるようになっており、その浸透は想像以上に早いという実態があります。**

このように、アクティブ・ラーニングに習熟した高校卒業生は、すでに大学に入学してくるようになっています。そうした学生たちに対して、大学教育にふさわしい、学術を継承するとともに未知の創造へと誘うような、さらに深いアクティブ・ラーニングを実践できる大学教員の養成は急務となっています。一昔前の大学教育は、偏差値で輪切りにされた比較的均質な学生たちに対して既存の知識を伝達することに重きをおきがちでしたが、今日では多様な他者と協働して問題を発見し解を見出していく力の養成という、新たな時代の要請に応えることができるのかどうか問われているのです。

大学セミナーハウスは、大学教員相互の交流を図ることによってわが国の大学教育の向上・発展に寄与することを目的としており、今年度も学術・文化・産業ネットワーク多摩との共催で国公立大学の枠を越えた合宿形式の新任教員研修を企画しました。ここで集中的に取り組むことになるのは、今日の大学教育に求められている、まさに多様な他者と協働して問題を発見し解を見出していくような創造的な学びそのものです。**この研修を通して希望の種を受け取った参加者は、各大学にそれを持ち帰り、学生諸君と同僚教職員との協働のなかで、色とりどりの花を咲かせることが期待されます。**みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

講師紹介

講師兼運営委員は裏面「運営委員紹介」をご覧ください。

佐藤 順子

【経歴】東京学芸大学教育学部卒業後、法務省入省。法務教官として少年院で非行少年の処遇にあたる。その後、専門学校講師・児童養護施設生活指導員を経て独立。大学セミナーハウス、プロジェクトアドベンチャージャパン、国立赤城青少年交流の家、国際自然大学校、等でプロジェクトアドベンチャーを手法とした体験教育ファシリテーターとして、学校でのクラスづくり、スポーツチームのチームビルディング、民間企業や行政機関の新入職者研修、教員研修等を実施。また、各種学校へのコミュニケーション・仲間づくりをテーマとした訪問授業や特別支援教育に携わる。

有賀 清一

【経歴】東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了(工学博士) 後、民間企業から東京大学大学院 情報学環 助手を経、桜美林大学 ビジネスマネジメント学群ビジネスマネジメント学類非常勤講師を経て、2008年より同大学専任講師。2017年より同大学非常勤講師、サンクタス(株)代表取締役。
【専門領域】流体シミュレーションを用いた身の回りの情報可視化、eラーニングシステムの構築(キーワード:流体力学、シミュレーション、バーチャルリアリティ)
【主な活動や著書】第5回文化庁メディア芸術祭インタラクティブアート部門審査委員会推薦作品受賞。バーチャルリアリティのための高精度リアルタイム流体シミュレーション開発、e-Learningによる大学生向けリメディアル教育の取組みなど。

村山 光子

【経歴】中央大学大学院総合政策研究科修了。1996年に一般企業から明星大学へ転職。明星大学学生支援センター等を経て、2010年～2015年明星大学学生サポートセンター長。2015年より明星学苑法人本部企画部企画課長。
【専門領域】学生支援、学生相談、発達障害者支援、産業カウンセラー、特別支援教育士スーパーバイザー、スチューデントコンサルタント
【主な活動や著書】「発達障害のある人の就労支援(2015)」「発達障害のある大学生への支援(2016)」(金子書房、分担執筆)。発達障害やその疑いのある学生の就労支援を行う。2015年より発達障害学生就労支援研究会代表。各大学のFD/SD研修会等の講師を担当している。

運営委員紹介

■菊地 滋夫(委員長)

【経歴】東京都立大学博士（社会人類学）、明星大学人文学部教授。同大学副学長、明星教育センター長。

【専門領域】東アフリカ海岸地方の宗教・権力・ジェンダーについての社会人類学的研究

【主な活動や著書】日本文化人類学会、日本アフリカ学会、日本ナイル・エチオピア学会、初年次教育学会会員。『文化人類学を再考する』（共著）、『アフリカの都市的世界』（共著）、『呪術化するモダンティ』（共著）、『女も男もフィールドへ』（共著）など。

■荒木 晶子

【経歴】サンフランシスコ州立大学大学院（コミュニケーション学修士）、スタンフォード大学客員研究員を経て桜美林大学リベラルアーツ学群教授。

【専門領域】スピーチコミュニケーション、異文化コミュニケーション

【主な活動や著書】『伝わるスピーチAtoZ』『自分を活かすコミュニケーション力』『自己表現力の教室』『口語表現ワークブック』『異文化コミュニケーション・ワークブック』『異文化接触の心理学』など。

■江夏 由樹

【経歴】ミシガン大学歴史学部博士課程修了（Ph.D in History）、その後、一橋大学経済学研究科教授、同研究科長・学部長を経て、一橋大学附属図書館長等を務める。2014年より一橋大学特任教授、同名誉教授。2016年より帝京大学経済学部教授。

【専門領域】東北アジア経済史

【主な活動や著書】*Banner Legacy*

(Center for Chinese Studies, University of Michigan, 2004) など。

■北原 和夫

【経歴】ブリュッセル自由大学博士（理学）、マサチューセッツ工科大学研究員、東京大学理学部助手、静岡大学教養部助教授、東京工業大学理学部助教授、同教授、国際基督教大学教養学部教授を経て、2011年より東京理科大学科学教育研究科教授。東京工業大学・国際基督教大学名誉教授。

【専門領域】物理学、科学教育

【主な活動や著書】NPO 物理オリンピック日本委員会理事長、加藤山崎教育基金理事、東京女子大学理事・評議員など。著書に『国際流動化時代の高等教育』（ミネルヴァ書房、執筆分担）など。

■史 傑 (Shi, Jie)

【経歴】中国、シンガポールの大学を経て、国際基督教大学で教鞭を執った後、電気通信大学情報理工学部教授（英語）。

【専門領域】英語教育学（カリキュラムデザイン）、社会言語学（バイリンガリズム）、EAP/ESP（学術・専門分野のための英語教育）、FD/PD（Faculty Development/Professional Development）

【主な活動や著書】全国語学教育学会、大学英語教育学会、アジア英語学会会員。大学英語教育学会 ESP 関東支部長、イノベーション高等英語教育研究ステーション IGTEE の設立者。『イノベーション高等教育－日本の理工系大学での ESP プログラムの設立と管理の試み－』『FD－大学教員養成の要－』など。

募集要項

●参加対象：国・公・私立大学で授業を担当する新任教員

*年齢不問

大学教員を目指す大学院生

*大学院の研究科長の推薦状が必要です。詳細は事務局までお問い合わせください。

●参加費：大学セミナーハウス協力会員校教員 35,000 円
学術・文化・産業ネットワーク多摩会員 45,000 円
一般校教員 50,000 円

*参加費には宿泊・食事・資料代、消費税を含みます。

*宿舎は2名1室となりますのでご了承ください。

●定員：40名

●申込方法：大学セミナーハウスHPの申込フォームよりお申込みください。

●申込締切：7月19日（水）

●お問合せ先：大学セミナーハウス・セミナーグループ
TEL 042-676-8532 / FAX042-682-2601
E-mail seminar-g@seminarhouse.or.jp
URL <https://iush.jp/>



大学セミナーハウス本館

交通アクセス

- 東京駅より約1時間30分、羽田空港より約2時間
- 最寄駅 JR八王子駅 } 各駅よりバス→約15～25分
京王線北野駅 } (野猿峠バス停下車徒歩5分)
- 京王相模原線南大沢駅 } 各駅よりタクシー→約10～15分

*詳しくはホームページの〈交通案内〉をご覧ください。

